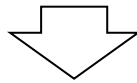


農地の見通しと確保

農地の見通しと確保

- 平成37年における農地面積の見込み
- これまでのすう勢を踏まえ、荒廃農地の発生抑制・再生等の効果を織り込んで、農地面積の見込みを推計

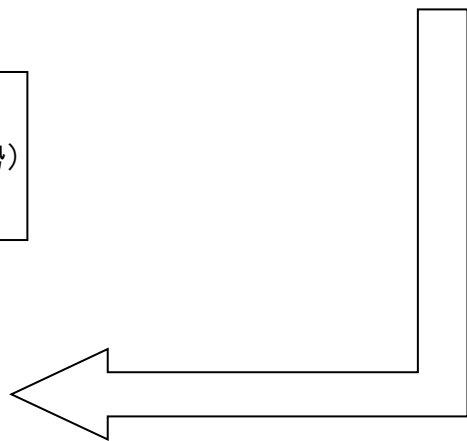
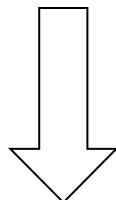
平成26年現在の農地面積 452万ha



すう勢	平成37年までの農地の増減	施策効果	平成37年までの農地の増減
農地の転用	△11万ha		
荒廃農地の発生	△21万ha	荒廃農地の発生抑制	+14万ha
		荒廃農地の再生	+5万ha
		東日本大震災からの復旧	+1万ha

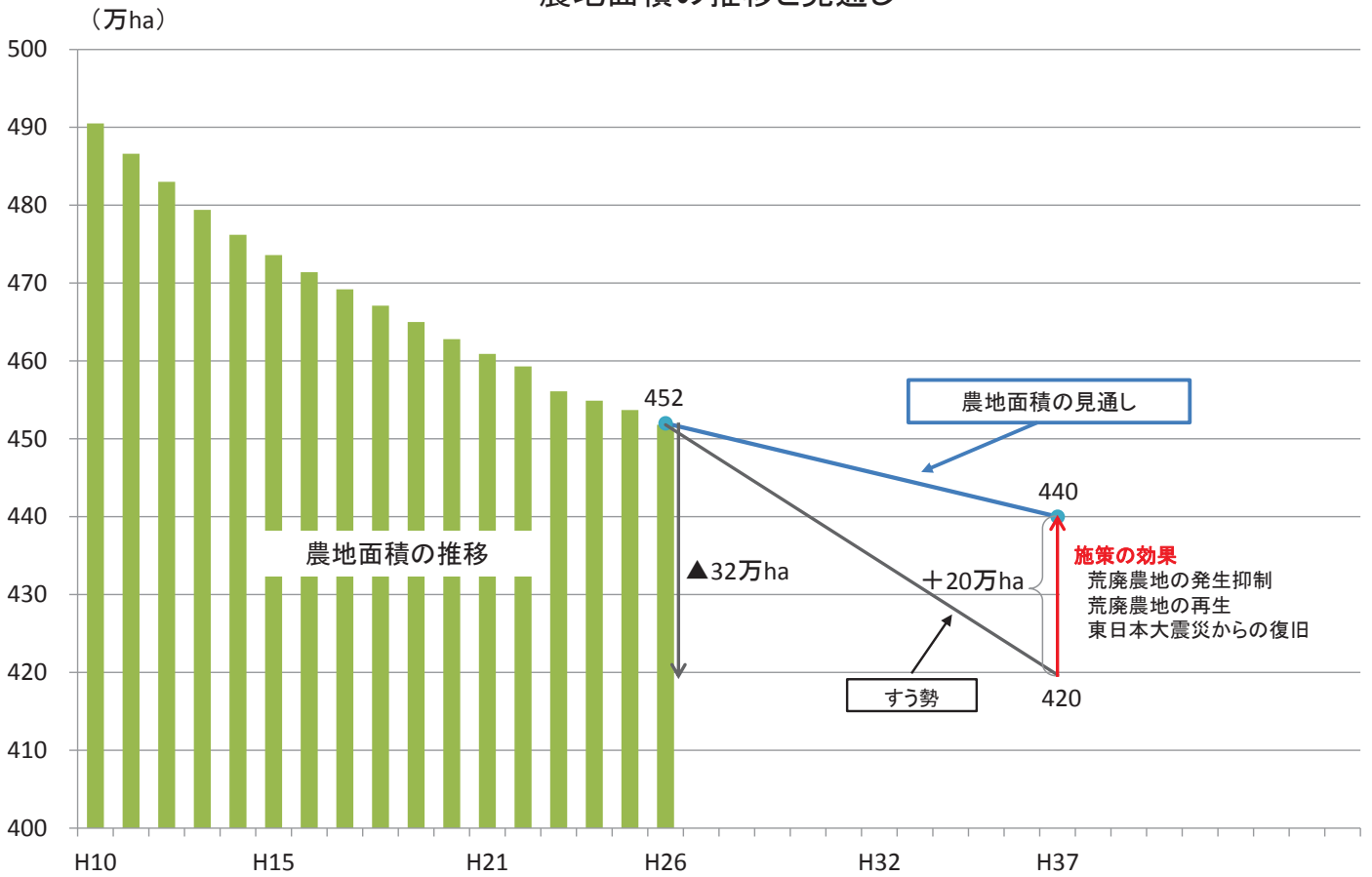


これまでのすう勢が
今後も継続した場合の
平成37年時点の農地面積 420万ha (すう勢)



平成37年時点で確保される農地面積 440万ha

農地面積の推移と見通し



説明参考資料

農地面積の見通し（平成22年基本計画）と推移

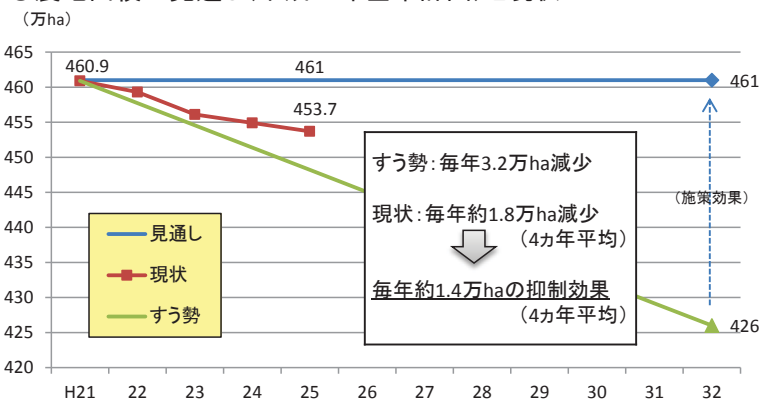
○ 農地面積については、平成25年は454万haとなっており、年平均約1.4万haの減少抑制効果は見られるものの、緩やかな減少傾向が継続し、平成32年に食料自給率50%を達成するための基礎とした461万haからは徐々に乖離してきている状況。

○農地面積の推移

	H21 [基準]	H22	H23	H24	H25	H32 [見通し]
農地面積(万ha)	460.9	459.3	456.1	454.9	453.7	461
対前年減少率 (%)	—	▲0.3	▲0.7※	▲0.3	▲0.3	

※平成23年は東日本大震災等による自然災害で約1.7万haかい廃
資料:農林水産省「耕地及び作付面積統計」

○農地面積の見通し(平成22年基本計画)と現状



○農地の見通しと確保(平成22年基本計画)

農地の見通しと確保

- 平成32年における農地面積の見込み
- これまでのすう勢を踏まえ、優良農地の転用抑制や耕作放棄地の発生抑制・再生等の効果を織り込んで、農地面積の見込みを推計

平成21年現在の農地面積 461万ha

すう勢	平成32年までの農地の増減	施策効果	平成32年までの農地の増減
農地の転用	△1.4万ha	優良農地の転用の抑制等	+5万ha
耕作放棄地の発生	△2.1万ha	耕作放棄地の発生抑制	+1.8万ha
		荒廃した耕作放棄地の再生	+1.2万ha

これまでのすう勢が今後も継続した場合の平成32年時点の農地面積 426万ha (すう勢)

平成32年時点で確保される農地面積 461万ha